**目次**

|  |  |
| --- | --- |
| P2 | 復興から創生へ 未来へつなぐまちづくり平成29年度の主な事業 |
| P6 | 復興から新たな大崎の創生へ平成29年度予算のあらまし |
| P9 | 市民バスが便利になって運行中です |
| P10 | 新たな10年へ向かって第2次総合計画スタート |
| P12 | 輝かしい功績をたたえて平成28年度教育委員会表彰式 |
| P16 | 市政トピックス　3月の主な出来事 |
| P17 | 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち |
| P18 | オオサキプレイガイド |
| P20 | 狂犬病予防注射を忘れずに受けましょう　ほか |
| P24 | 今月のお知らせ |
| P34 | 子育て支援情報 |
| P35 | 育児相談・乳幼児健診 |
| P36 | 休日当番医　ほか |

**パタ崎さんの観光ひとくちメモ**

**その9　トランスイート四季島来訪PR作戦**

観光交流課 23-7097

先月の広報おおさき市政トピックスで「トランスイート四季島受入実行委員会」の設立が紹介されたんだけど、３月７日には、さっそく、各地域の代表９人の実行委員からなる幹事会を開催して、これからの具体的な取り組みを話し合ったんだ。

　一人でも多くの市民に、「四季島」が大崎市にやってくることを知ってもらうことこそが、今回の取り組みの第１のステップと考えて、啓発用のぼり旗を作って、市内の公共施設や商店街など、陸羽東線沿線の主要な場所に掲げてＰＲしていくことになったよ。

　みんなの住む地域に、のぼり旗が届いたら、大々的に掲示してね。

　人口減少が進む今、一人でも多く大崎市へ足を運んでもらい、大崎市のファンを増やしていくことが大切なんだ。市民一丸となって歓迎ムードを盛り上げていこう！

**春の交通安全県民総ぐるみ**

**運動が実施されます**

防災安全課交通防犯担当 23-5144

運動の期間　4月6日～15日

運動の基本　子供と高齢者の交通事故防止～事故にあわない、おこさない～

運動の重点　歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、※自転車については、特に「自転車安全利用五則」の周知徹底、後部座席を含めたすべての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶

交通事故死ゼロを目指す日　4月10日

**男女を通じ日本人初の金字塔 ボクシング４階級制覇達成！！**

WBA女子世界フライ級 新チャンピオン

藤岡 奈穂子 選手（竹原慎二＆畑山隆則ボクサ・フィットネス・ジム所属）

　おおさき宝大使で、日本ボクシングコミッションの女子認可以降では、WBC女子世界ミニフライ級、WBA女子世界スーパーフライ級、WBO女子世界バンタム級の3階級を初めて制覇した、古川地域出身の女子プロボクサー藤岡奈穂子選手が、3月13日、ボクシングのメッカ東京の後楽園ホールで、4階級制覇を目指し「WBA女子世界フライ級王座決定戦」に臨みました。対戦相手は、メキシコのイサベル・ミジャン選手。WBA女子世界フライ級2位の実力者です。この日は、藤岡奈穂子後援会をはじめ、多くの市民が会場に駆け付けて大声援を送りました。

　試合は、初回から藤岡選手が積極的に攻め、第２ラウンドには、藤岡選手の強烈な左フックが対戦相手のあごをとらえ先制のダウンを奪います。その後、リーチ(腕の長さ)に勝る対戦相手と自分の距離を測りながら、正確な

パンチを上下に打ち分け、終始、藤岡選手がリードする形で試合が進みました。そして迎えた最終第10ラウンド。対戦相手をコーナーに追い込み、たたみかけるように連打を浴びせると、レフェリーストップがかかり、テクニカルノッ

クアウトで、男女を通じて日本人初、そして女子の世界記録と並ぶ、4階級制覇の偉業を成し遂げました。

　41歳となった今なお、日本女子プロボクシングのトップを走り、見果てぬ夢に向かって邁進するその姿は、わたしたち大崎市民に大きな勇気と誇りを与えてくれます。藤岡選手の今後の活躍に要注目です。

藤岡選手からのコメント

東日本大震災から6年、当時の世界戦と重なるものがあり、負けられない戦いでした。皆様によい報告ができほっとしています。

　会場に駆けつけていただいた大応援団、地元大崎の皆様の力強い応援に感謝の気持ちで一杯です。

　今後については、まだ具体的なものはありませんが、5階級制覇を目指して努力していきますので、引き続きの応援をよろしくお願いします。

**市長コラム　天地人　　震災復興から創生・飛翔へ**

大崎市長　伊藤康志

東日本大震災から６年がたち、新しい年度がスタートします。

　本市は内陸部最大の被災地でしたが、国・県・全国からのご支援と、市民皆様のご協力により、内陸の復興モデルをめざして早期に復旧・復興を進めることができました。

　本年度は、復興計画期間の最終年度であり、中心市街地復興まちづくり計画に掲げる「図書館開館事業」「消防署などの建設事業」「道の駅事業」「子育て支援施設事業」「市役所周辺整備事業」「緒絶川周辺整備事業」「七日町西地区再開発事業」「新庁舎建設事業」などを着実に進めてまいります。

　さらに、震災を教訓にして安全・安心なまちづくりと、減災システムを構築してまいります。同時に、心の復興を進め、音楽が聞こえる都市（まち）づくり、笑顔あふれる大崎を創生してまいります。

　また、新年度は、次なる10年に向けて、第２次総合計画や産業振興計画、第２期行政改革大綱もスタートします。地方創生や東北新時代を見据えた社会基盤や都市機能を充実させてまいります。

　そのような時、宝の都（くに）・大崎を後押ししていただくかのように朗報が続いております。昨秋の鳴子ダム選奨土木遺産認定や、内川の世界かんがい施設遺産認定に続き、東北では初となる、大崎耕土の世界農業遺産への推薦と日本農業遺産認定が決定しました。

　また、大崎市初となる田尻小松の「木造千手観音坐像」も国の重要文化財に指定されます。

　大崎の誇れる宝・資源に一層磨きをかけて、輝かくしく飛翔できるよう驀進してまいりましょう！